

CPA | 政連ニュース

日本公認会計士政治連盟

ACT TOGETHER URL <http://www.cpa-seiren.jp>

2025年8月15日
第518号

発行所
日本公認会計士政治連盟
〒102-8264
東京都千代田区九段南4-4-1
公認会計士会館
電話03-3515-1155

発行人 茂木哲也

■ 政治連盟第62回定期大会開催
■ 活動報告

- 「萩原佳を囲む公認会計士の会」設立総会を開催
- 衛藤征士郎先生への感謝の会を開催
- 石井啓一前衆議院議員、若松謙維参議院議員と意見交換



政治連盟 第62回 定期大会開催

6月20日に公認会計士会館にて、日本公認会計士政治連盟「第62回定期大会」が開催された。手塚正彦会長、秋山修一郎幹事長体制による3回目の開催となり、昨年同様、会場参加とリモート参加のハイブリッド形式で日下部恵美副幹事長の司会のもと、進行した。第62事業年度活動報告、第62事業年度決算報告、役員の変更、第63事業年度運動方針案、第63事業年度収支予算案についての説明があり、質疑応答がなされた後に、全ての議案が承認された。

第62 事業年度の活動報告

運動方針 1

国民経済の健全な発展に寄与するため、日本公認会計士協会と緊密に連携して、公認会計士制度の一層の充実・強化を図るのに必要な法改正等、制度的枠組みの見直しを求めるとともに、公認会計士に関わる社会的な諸課題の解決に向けて、適時、強力な施策を講じる。

情報開示の有効性を高める 枠組みの提案

「囲む会」(公認会計士による後援会)が設立されている議員や各政党の公認会計士制度議員連盟に所属されている議員を中心に、議員事務所への個別訪問、政治資金パーティーへの出席など、あらゆる機会を通じ、公認会計士を巡る諸問題について意見交換を行ってきた。特に当事業年度は、サステナビリティ情報開示・保証業務の制度化、株主の議決権行使をより実効性のあるものにするための「定時株主総会の実質的な分散化」と「定時

株主総会前の有価証券報告書開示」、金融商品取引法(有価証券報告書)と会社法(事業報告・計算書類)による開示・監査の一元化、のれんの会計処理の在り方及び企業の情報開示に対する規律向上などの課題に対し、国会議員の理解と支援を得るための積極的な活動を行った。

昨今の監査業界においては、監査品質の維持・向上のために人材確保、ICT基盤整備、デジタル化等に多額の投資を行う必要があるため、適正な監査報酬決定のあり方については、今後も継続しての働きかけに取り組む予定である。



運動方針 2

公認会計士がその資格で税務業務ができることを含め、公認会計士が変化する社会からの期待に応え続けられるよう公認会計士法の改正を含め、関係法令の整備を求め。

公認会計士の資格で税務業務を

従前より先進諸国に比肩できる制度設計を目指し、恒久的に公認会計士の資格で税理士業務を行うことが可能な制度とするため、議員が開催する政治資金パーティーや囲む会等であるべき姿を訴えてきた。毎年秋には4つの議連(自民・公明・立憲・国民)を開催いただいて

おり、各議連において協会から税制改正についての要望をあげている。

当事業年度は秋に衆議院議員選挙が施行された関係で、議連の開催がなく、税制改正要望については、税務担当の役員や委員と連携して、与党の税調インナーに説明を実施することで、税務面での公認会計士の関わりをアピールした。

運動方針 3

国会議員等に対し、公認会計士制度等に対するさらなる理解と国際動向も含めた社会情勢の変化による様々な課題の解決に向けた協力を得るための諸施策を講じるとともに、適時、適切な支援活動を強力に推進する。



議員連盟、「囲む会」を中心に 理解を促進

公認会計士業界の諸問題について、国会議員の理解と協力を得るため、各議員事務所を訪問し、意見を交換するとともに、議員主催セミナー等に可能な限り参加し意見交換を行った。

政治連盟懇親パーティーは、開催ホテルと連携して要人警護対策を十分に行った上で2025年3月19日に開催した。

また、国会議員に対する支援活動の一環として設立した「国会議員を囲む公認会計士の会」についても随時開催した。



運動方針 4

当政治連盟の活動に対する会員の理解と協力を得るため、広報活動等を活発に展開する。

インタビューされる議員はもとより、政連ニュースを目にした他の議員からも好評を得ている。

また、当年度は特集記事「サステナビリティ情報開示の動向」を掲載し、国会議員への理解を促した。

なお、政治連盟では、独自のウェブサイトを経営しており、毎月の政連ニュースを掲載するとともに、逐次活動報告等の広報を行っている。



政治連盟ウェブサイト



国会議員の「志」を政連ニュースにてご紹介

全国の会員をはじめ、多くの国会議員等に当政治連盟の諸活動を紹介し、理解を促進することを目的として、月刊機関紙「政連ニュース」を発行している。

特集記事では、当政治連盟が支援している国会議員を紹介することを目的として、囲む会の会長等による国会議員へのインタビュー記事や政治連盟役員による各政党の議員連盟会長インタビュー記事を掲載した。当企画は

運動方針 5

当政治連盟の目的達成に必要な諸施策を推進するため、組織を活性化するとともに、適正に予算を執行し、健全な財政基盤を維持するよう努める。

組織の活性化に向けて

当政治連盟の諸活動の情報共有化、会費納付率の向上を図るなどのため、情報伝達及び意見交換を行うなど、本支部間の連絡を密にした。また、財政強化に関しては、全ての会員・準会員(後述の9監査法人所属を除く。)に対し、銀行等の金融機関の他、コンビニでの支払が可能な納付依頼書を送付(4月下旬)するとともに、口座振替制度への加入を促進した。

大手監査法人などには個別に会費・寄附金の一括納入を依頼し、9監査法人(あずさ、PwC Japan、EY新日本、トーマツ、太陽、東陽、仰星、三優、みのり)から一括納入をいただいた。

さらに、「政連ニュース」に会費及び寄附金の納付をお願いする記事を掲載するとともに、政治連盟会長が監査法人の社員会等において直接協力を呼びかけるなど、会員・準会員の継続的な支援を得るための諸施策を実施した。

政治連盟 第63 事業年度 運動方針 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

1. 国民経済の健全な発展に寄与するため、日本公認会計士協会と緊密に連携して、公認会計士制度の一層の充実・強化を図るのに必要な法改正等、制度的枠組みの見直しを求めるとともに、公認会計士が関わる社会的な諸課題の解決に向けて、適時、強力な施策を講じる。
2. 公認会計士がその資格で税務業務ができることを含め、公認会計士が変化する社会からの期待に応え続けられるよう公認会計士法の改正や、関係法令の整備を求める。
3. 国会議員等に対し、公認会計士制度等に対するさらなる理解と国際動向も含めた社会情勢の変化による様々な課題の解決に向けた協力を得るための諸施策を講じるとともに、適時、適切な支援活動を強力に推進する。
4. 当政治連盟の活動に対する会員の理解と協力を得るため、広報活動等を活発に展開する。
5. 当政治連盟の目的達成に必要な諸施策を推進するため、組織を活性化するとともに、適正に予算を執行し、健全な財政基盤を維持するよう努める。

日本公認会計士政治連盟 新体制 (一部抜粋)

会長：茂木 哲也

幹事長：秋山 修一郎



副幹事長：新井 達哉、市川 亮悟、勝島 康博、佐藤 久史、関根 和昭、西田 俊之

※その他の役員はウェブサイトをご確認ください。

活動報告

※肩書きは開催時点のものです。

衛藤征士郎先生への感謝の会を開催

2025年3月27日



衛藤征士郎 前衆議院議員

衛藤征士郎先生には、自由民主党「公認会計士制度振興国会議員連盟」の会長として、長年にわたり公認会計士制度の振興にご尽力いただきました。役員一同、改めて感謝申し上げます。

石井啓一前衆議院議員、若松謙維参議院議員と意見交換

2025年5月16日



若松謙維 参議院議員

石井啓一 前衆議院議員

「萩原佳を囲む公認会計士の会」設立総会を開催

2025年3月23日



萩原佳 衆議院議員

2025年3月23日、「萩原佳を囲む公認会計士の会」設立総会(及び国政報告)が日本公認会計士協会近畿会にて開催され、公認会計士22名が参加した。

萩原議員は、日本維新の会の所属で、2024年10月の第50回衆議院議員総選挙の選挙区(大阪府第9区)にて初当選した、将来が囑望されている若手議員である。

設立総会では、塩田発起人代表による議事進行の下、規約案と役員案が原案どおりに承認された。そのあとの萩原議員からの国政報告では、公認会計

士として活躍してきた経歴や茨木市議会議員として地方政治を経験した後、国政に携わることになった経緯等に関して自己紹介も兼ねてご説明いただき、日本維新の会の掲げる政策説明や昨今の国政状況など多岐にわたってご講演いただいた。

また、設立総会終了後に場所を移して開催された懇親会では、萩原議員と会員及び会員相互が懇親を深めるなど、設立総会及び懇親会ともに盛況裡のうちに閉会した。